

## オーストラリア研修についての報告

藍住中学校 前原 弘

私は2025年8月17日から8月27日までの10日間、オーストラリアでの語学・文化研修に参加した。本研修は、英語力の向上や異文化理解を深めることに加え、将来的に国際社会で活躍できる人材の育成を目的として実施された。現地の学校での授業、文化交流、そしてホームステイによる生活を通じて、実践的な英語力とともに多様な価値観への理解を深めることができた。本レポートでは、研修の概要と、自身の体験を通じて得た学びや気づきについて報告する。

研修は主に3つの要素で構成されていた。まず、平日の午前中は現地の学校で英語の授業を受けた。授業では分厚い教科書みたいな教材が配られ、それを読みながら内容の理解を深め、文章の意味について考えたり、英語の文を考えて書いたりした。日本の授業と異なり、読解力だけでなく、考えを整理して伝える力も求められた。午後は、その学校の授業の様子を見学し、授業のやり方や生徒の反応を学ぶことができた。これにより、オーストラリアの教育現場や生徒の学び方を知る貴重な機会となった。



滞在中は現地の一般家庭にホームステイし、家族の一員として生活した。初めは会話がうまく通じず不安もあったが、毎日のやり取りを通じて徐々に英語でのコミュニケーションにも慣れていった。家族との会話や食事、買い物、イベントへの参加を通じて、教室では得られない生きた英語を学ぶことができた。



また、日本とは異なる生活習慣や価値観に触れる中で、文化の違いに対して柔軟に対応する姿勢の重要性を実感した。相手を尊重し、まずは受け入れるという姿勢が異文化交流において欠かせないことを学んだ。

今回の研修を通して得られた最大の学びは、語学力の向上だけでなく、多様な文化を理解し、尊重する姿勢の大切さである。限られた語彙でも、伝えようとする努力と積極的な姿勢があれば、相手との信頼関係を築くことができると実感した。

また、オーストラリアの多文化社会では人々が異なる背景を受け入れ、共に生活している姿が印象的であった。自国の文化に固執するのではなく、広い視野を持ち、柔軟に対応する力が、これから社会で求められる力であると考えている。

オーストラリアでの語学・文化研修は、単なる英語学習にとどまらず、異文化理解や国際的な視野を広げる貴重な経験となった。現地での生活や人々とのふれあいを通じて、言語だけでなく、価値観や考え方の多様性を肌で感じる事ができた。



この経験を今後の学びや進路選択に活かし、より広い世界で活躍できる人材となることを目指していきたい。

最後に、本研修を支えてくださった関係者のみなさま本当にありがとうございました。